

2025年度科目等履修生高度プログラム
(安全なデータ利活用のためのプロフェッショナル
人材育成プログラム)
構成科目一覧

| 時間割 コード | 授業科目名 | 到達 目標 | 単位数 | | | 開講学期 (4学期制) | 開講部局(課程) | 備考 |
|------------|-------------------------|----------|-----|-----|----|----------------|---------------------|----------------------------|
| | | | 必修 | 選必 | 選択 | | | |
| 281611 | 実践セキュリティ特論 I | ② | | 2 | | 春～夏学期 | 工学研究科 (博士前期課程) | e-learning及び オフィスアワーの導入 |
| 281568 | 実践セキュリティ特論 II | ② | | 2 | | 秋～冬学期 | 工学研究科 (博士前期課程) | e-learning及び オフィスアワーの導入 |
| 281571 | 先進情報セキュリティとアル ゴリズム | ① ③ | | 2.5 | | 秋～冬学期 | 工学研究科 (博士前期課程) | e-learning及び オフィスアワーの導入 |
| 281570 | 実践離散数学と計算の理論 | ① ③ | | 2.5 | | 春～夏学期 | 工学研究科 (博士前期課程) | e-learning及び オフィスアワーの導入 |
| 281569 | 高度セキュリティ PBL | ③ ④ | | 2 | | 夏学期 集中 | 工学研究科 (博士前期課程) | e-learning及び オフィスアワーの導入 |
| 281352 | 高度セキュリティ PBL II | ③ ④ | | 1 | | 秋～冬学期 集中 | 工学研究科 (博士前期課程) | e-learning及び オフィスアワーの導入 |
| 281353 | 高度セキュリティ PBL III | ③ ④ | | 1 | | 秋～冬学期 集中 | 工学研究科 (博士前期課程) | e-learning及び オフィスアワーの導入 |
| 281381 | 高度サイバーセキュリティ PBL I | ③ ④ | | 1 | | 春～夏学期 集中 | 工学研究科 (博士前期課程) | e-learning及び オフィスアワーの導入 |
| 281382 | 高度サイバーセキュリティ PBL II | ③ ④ | | 1 | | 春～夏学期 集中 | 工学研究科 (博士前期課程) | e-learning及び オフィスアワーの導入 |
| 281383 | 高度サイバーセキュリティ PBL III | ③ ④ | | 1 | | 秋～冬学期 集中 | 工学研究科 (博士前期課程) | e-learning及び オフィスアワーの導入 |
| 281577 | 先進安全なデータ設計特論 | ③ ④ | | 2 | | 秋～冬学期 集中 | 工学研究科 (博士前期課程) | e-learning及び オフィスアワーの導入 |
| 331511 | 情報ネットワーク経済学 | ⑤ | | | 2 | 春～夏学期 | 情報科学研究科 (博士前期課程) | |

【到達目標欄】の①～⑤は、以下の内容に対応しています。

- ①情報セキュリティ基盤技術の原理について理解している。
- ②情報セキュリティマネジメントやリテラシーについて自分の意見を持ち、論じることができる。
- ③情報セキュリティ基盤技術を応用できる。
- ④セキュアなシステム設計やアプリケーションの構築,またその運用ができる。
- ⑤情報関連の知識・技術について理解している。

【カリキュラムの構成】

別添①

- ◇到達目標①の達成に必要な数学と計算の理論を習得するために「実践離散数学と計算の理論」を開講します。
- ◇到達目標①の達成に必要な情報セキュリティとアルゴリズムの知識を習得するために「実践離散数学と計算の理論」「先進情報セキュリティとアルゴリズム」を開講します。
- ◇到達目標②の達成のために「実践セキュリティ特論I, II」を開講します。
- ◇到達目標③の達成に必要な実践力や応用力を身に付けるために、「実践離散数学と計算の理論」「先進情報セキュリティとアルゴリズム」「高度セキュリティPBL」「高度セキュリティPBL II, III」「高度サイバーセキュリティPBL I～III」「先進安全なデータ設計特論」を開講します。
- ◇到達目標④の達成のために「高度セキュリティPBL」「高度セキュリティPBL II, III」「高度サイバーセキュリティPBL I～III」「先進安全なデータ設計特論」を開講し、実際にセキュアアプリケーションの構築を体験します。
- ◇到達目標⑤の達成に必要な、情報セキュリティにかかるコストについて、経済学から見た側面を理解するために「情報ネットワーク経済学」を開講します。